

1月給食だより



令和 7 年 1 月 7 日

江戸川区立小松川小学校

校長 坂野眞太郎

いよいよ学年最後の学期となりました。インフルエンザや新型コロナウイルスなどの感染症を防ぐには、きちんと手を洗うこと、三食しっかり食べること、ストレスや疲れをためないことが重要です。寒い日が続きますが、一人一人が感染予防を徹底しましょう。給食室では、昨年に引き続き安全でおいしい給食作りに努めてまいります。

本年もよろしくお願いたします！



今年巳(へび)年！

へびは、食べるときに獲物を丸のみしますが、皆さんは、よくかむことを意識して味わって食べましょう。



冬の野菜は甘い!?

冬が旬の野菜は、寒さで凍らないよう、細胞に「糖」を蓄えるため、甘く感じます。また、雪がたくさん降る地域では、「越冬野菜」といって、秋に収穫する野菜をそのまま埋めておき、雪の中で保存する方法があります。寒さで野菜の甘味やうま味が増して、よりおいしくなるそうです

スーパーや八百屋さんをのぞいてみると、日照時間が少ない冬の太陽を浴びるため 葉が大きくなり、寒さで縮れて肉厚になった「ちぢみ小松菜」「ちぢみほうれんそう」が回っています。冬ならではの野菜の甘味、ぜひ味わってみてください。

今月の給食

1月の給食目標は、

「マナーや決まりを守って協力して食べましょう」です！

学習発表会 M-1(メニュー1)給食 10日(金) 15日(水) 21日(火) 23日(木)

6年生が、テーマを決めて献立をつくりました。作成にあたり、給食のきまりや約束事項を学びました。栄養士も子どもたちに給食の事をより知ってもらおうと、担任の先生とともに給食の食品バランスを中心にアドバイスしました。

当日の給食時には、各班が考えた給食メモをもとに、給食指導をしていきます。お楽しみに。



M-1 グランプリ

1月24日～30日
全国学校給食週間

日本の学校給食は、明治22（1889）年に始まったと言われています。その後、各地で給食が実施されるようになりますが、戦争などの影響で中断されてしまいました。戦後、支援物資により給食が再開したことを記念して設けられたのが、1月24日～30日の「全国学校給食週間」です。



24日(水)は、「給食のはじまり」当時を再現した献立です。

日本の学校給食は、明治22年、山形県鶴岡町の小学校で、貧しくて弁当を持ってこられない子どものために、ご飯や野菜を中心とした食事を提供したことがはじまりだと言われています。24日の給食は、「ごま塩おにぎり・焼き鮭・漬物」といった、当時の食事をイメージした献立です。



今の給食は・・・？

栄養補給の目的で始まった学校給食ですが、時代とともにその役割は変化していきました。

平成17年には「食育基本法」が制定され、

現在では、食育を推進するための「生きた教材」としての役割も担っています。

小松川小学校では、ごはんを中心とした和食の献立を基本に、郷土料理や行事食を提供しています。また、世界の多様な食文化への理解を深めることを目的とし、さまざまな国の料理も取り入れています。

時代の流れとともに変化する「学校給食」ですが、いつの時代も子どもたちを大切に思う気持ちが詰まっています。そんな思いを感じ、おいしく食べてもらえるよう工夫をしています。

がっこう きゅうしよく
学校給食のはじまり

